

2017年4月27日

2018-2020 年 臨床培養士認定制度申請要綱

一般社団法人日本再生医療学会認定制度事務局

1. 申請期間

2017年6月16日（金）～7月13日（木）必着

2. 筆記試験実施要領

2017年8月6日（日）

東京都区内

3. 申請先

一般社団法人日本再生医療学会認定制度事務局

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-11 日本橋ライフサイエンスビルディング

Phone: 03-6262-3028

※必ず朱書きで当該認定制度申請書類であることを記載し、書留郵便にてご提出ください。

※認定審査料について団体価格適応の場合においても、お1人ずつ個別に申請書類をご郵送ください。

4. 申請者への照会・通知先

本会の会員データベースに登録された連絡先のみに対して照会・通知等を行います。データベースへの登録内容が古い場合などには受験票の発送といった連絡ができなくなりますので、必ず申請前に会員データベースへの登録内容を本会ウェブサイト（www.jsrm.jp>会員登録>登録情報管理）よりご確認ください。また、申請後も、ご異動・転居等のあった場合は必ず内容をアップデートしてください。

5. 筆記試験の参考書

筆記試験問題の多くは、再生医療資格認定講習会のテキストより出題されます。予習にあたってはこのテキストをご使用ください。

6. 問合せ先

本要綱に記載されていない事項に関するお問合せは、認定制度事務局（certification@jsrm.jp）までメールにてご連絡ください。お電話での回答内容につきましては、その正確性を保証いたしかねますのでご注意ください。

1. 申請条件

- 1.1. 2015年7月以前より継続して本会の会員であり、会費を完納していること
- 1.2. 再生医療等に関する臨床・研究経験があること（以下のいずれかに該当すること）
 - 1.2.1. 再生医療等の臨床における細胞／組織の培養の24か月以上の経験を有すること
 - 1.2.2. 過去に厚生労働大臣に提出された再生医療等提供計画における特定細胞加工物の製造に関わった経験を有すること
 - 1.2.3. 過去に筆頭者として発表した再生医療等に関連する学会発表または論文を1報以上有すること
- 1.3. 2017年または2016年に1回以上本会学術総会に参加していること
- 1.4. 2017年または2016年に1回以上再生医療資格認定講習会に出席していること

※日本組織培養学会細胞培養基盤技術コースを修了した者は実地試験が免除されます。

2. 申請書類

全ての申請書類は本会ウェブサイトに掲載の書式集を用いて、A4の用紙に出力してご提出ください。

2.1. 臨床培養士認定申請書

2.2. 履歴書

2.3. 以下のいずれか

- 2.3.1. 再生医療等の臨床における細胞／組織の培養の24か月以上の経験を証明する所属機関の長による書面
- 2.3.2. 厚生労働大臣に提出された再生医療等提供計画における特定細胞加工物の製造に従事したことを証明する実施責任者による書面
- 2.3.3. 本会学術総会の抄録集における申請者を筆頭演者とした発表の抄録および表紙の写しまたは申請者を筆頭著者とした再生医療等に関する論文の別刷または全文の写し

2.4. 2017年または2016年の本会学術総会の参加証の写し

2.5. 2017年または2016年の再生医療資格認定講習会の受講票の写しあるいはそれを証明できるもの

2.6. 認定審査料の振込を証明する記録（振込時の振込依頼書控など）の写し

正会員：12,000円

法人会員である企業に属する正会員：8,000円

団体価格：8,000円／人

※団体価格とは、同じご所属先(CPC施設、講座、コース、研究室などの単位)の受験者5名以上が指定の書式にて申請する際、有効となる。

2.7. 日本組織培養学会細胞培養基盤技術コースを修了した者は、修了証の写し

3. 認定審査料納付先

三井住友銀行（0009）／日本橋支店（695）／普通預金 8280384

一般社団法人日本再生医療学会 [シヤ) ニホンサイセイイリョウガッカイ]

以上